

磐城日日新聞

発行所 磐城日日新聞社 福島縣磐城市渚廻51 電話 387番 編集人 比佐不二夫

セーター入荷 はちや チケット歓迎 電話 919

脚光浴びるベトナム沿岸漁業

昨報に北洋漁業の開拓に対して、去る三日ベトナムからトラン・ヴァン・トリ・ヴェトナム水産局長が来市し、日本の底引き漁業をベトナム沿岸で操業してはと南洋進出が持ち込まれ、不振を極める本縣底曳ぎ漁業に大きな光明となり、その後水産試験場、縣水産課などその具体化に乗り出した結果、愈々来月中旬二隻が初の壯途につくことになり、更にフィリピン沿岸も具体化しようとしている

来月中旬に二隻が先發

明年中は五十隻を出漁さす

終戦直後インフレ好景気があり、政府は二七年を以てない実状にある。殆ど無計画に近い増船が来船船整理、轉換整理に種本県の場合三〇トン以上、行われた結果、全国的に底曳ぎを急いでいるが、これ五〇トン未満の中型底曳船、東洋漁業の沿岸魚類に資源のとまで前者は全隻数の二が六十隻をこえ、北洋その後の接衝により、日本コカツを来たし、二四年頃一割後者は北洋を、マサには三十隻が出漁船の漁獲は魚類の種類を本腰を入れて、更に大きな規模となつて、から不振不振を極めてこす漁業に、一割程度で全体的漁しているが、五〇トン以下は北洋の場合非常な危日本價三百円でベトナム活気だせている

張 全市民の支持と祝福を

南方よ場の開拓に贈る

比 佐 凡 風

磐城市の将来の産業は工業にあり、このまま推移すれば、家の経営手腕の稚拙、いわんば、資本金で勿論資本主義社会である以上事業に失敗し、倒産する事は事業主、資本家、知れないものがあります。一時的な転換は挽回されたとしても、不景気は挽回されたと、不安定から危険だからと、開拓をテューチョする事は許されるべきでない。全市民の支持と応援を南方漁業協同組合設立に贈らうと念願します

政府が買取る契約も成立しは側面から積極的に協力出漁に際しては轉換資金と補助を行う方式をとり、出漁に際しては二五〇万程度漁船の認可に對しても船主の融資も見込まれ、これがの自主性にまかせ、特別の成功すれば更にヒイリッピン場を除き出漁船の撰択、タイなどの南方諸國は行われないと語つてゐる。岸漁場の開拓も具体化され、南方出漁協同組合設立發起人は次の諸氏 坂本長太郎、三代義勝、田島繁夫、吉田義、小松敬次郎、黒川喜一郎、長谷川長太郎、佐藤伸、水野良吉、齋藤誠吾、平

比國からも視察團來市

フィリピン開漁のゆめも開くか

死活的混迷をホーコーするフィリピン水産局長ラオス氏、東北地區自家用自動車からの書状では小名浜の漁協議事に出席のため二日午後七時二〇分湯本着の急行を視察したいとのみ後七時二〇分湯本着の急行を視察したいとのみ後七時二〇分湯本着の急行を視察したいとのみ後七時二〇分湯本着の急行を視察したいとのみ

菅野水試場長の話

フィリピン視察團の事は前々から話があつたが、具体的には何も聞いておらず今日訪問をもつて、うが、南方出漁は国家的な要請でもあり誠意をもつて話し合いたいと思つてゐる

小澤建設大臣ら 浜通り視察

建設大臣小澤佐重喜氏は衆院建設常任委員高木松吉氏一行は、二日午後一時から常磐市湯本公民館で開かれ

時計とメカニクス カンノ時計店

内一般外科 性病科 泌尿科 放線科 草野醫院

福助足袋 大賣出し 小泉屋洋品部

磐城市公認 磐城市清掃業組合 事務所 磐城市辰見町 電話一四五

お買物の計畫は 先ず小名浜専門店へ

旅行とスポーツの秋 野球帽 自転車用品 平マーケット

縣議退職金條例廢止

磐城にも署名運動起る

水素勞組中心にがい頭にも進出か

来春四月改選期を控え、復句から加盟二十單産、オプ
雑な内状を包含して全県下ザバーの縣化勞連、全銀
に波及している、県議員の連、鉄機勞連なども積極
退職金條例廢止請求署名運動に参加して條例廢止の署名
運動は、県協の猛烈な運動に運動を起して来たもので
より、県化勞連下の日本水素勞協の反対理由としては
素勞組組合(組合長杉山美一、地方自治法より非常勤
の職員には退職金を支給する点に非難、
佐緒氏組合員二〇〇)も
去る二十八日から廢止請求署
名運動を展開、更に街頭に
進出して一般市民にも呼びこ
うとして居る。
県議報費(退職金)支給
條例は去る二月県会で成立
したが、県協など革新陣
營はこれに猛烈なる反対運
動を起し、県会新政クラブ
が県会と県協を幹旋して
九月十日県会各派は「客觀
情勢が變化するまで條例の
施行を見合わせる」自衛共
同聲明を發表したが、縣協
協はこれを容れず、九月下
旬までこの署名運動を
進出している。

会社回答五日に

水素勞組越年資金要求出す

近江網糸争議、証券ストと日の第一五回中央委員会で
勞働争議に新しい傾向を見
せ深刻化する經濟不況に
一般の勞働運動の有り方が注
目されているとき日本水素
勞働組合は八月下旬から越
年資金要求の体形調整に努
力を見合わせる「自衛共
同聲明を發表したが、縣協
協はこれを容れず、九月下
旬までこの署名運動を
進出している。

薄給をさるゝ温い手

常磐二小にさく教師愛

教育二法が施行されて大連文部大臣の教組に対する態度は以
來激つとなり、学校教員は全部アカで偏向教育者に終始して
いる様な印象を興えているとき、家庭の貧困故に学校に来る事
も出来ぬ生徒に愛の手をささるゝ温い手、女教員が湯の御常磐市
の話題となつて居る人々の心を温めて居る。

人妻不審の失ソ

物賣りに出たまま消える

二十九日午後五時頃磐城署袋のいでたちで野菜の行商
に妻を捜がして下さいと聲に同日出たもので、人相は
城市大字永崎宇川畑、農業身長五尺五寸、小肥りで面長
作山要七(四五)さんが申出た、赤顔、パーマはかけてい
要七さんの話しによれば、右さまのホクロがあるの
妻アサ(四〇)さんが廿二日午後、右さまの長ととの事。
後五時三十分頃常磐市役員四十面下げて誘惑も無いだ
の妹宅根本金庫方方に立ち上り、金など持っていたい
寄り後消えて無くなったと死なれる様な事話したおほ
云う、ハイパーの玉虫上衣を脱ぎ、要七さんは話
長着のすそ柄物、赤色のモつており、心當りの方は聲
ンベ、エンジ前掛、地下足城署に教えて下されの由。

縣知事杯争たつ

濱通り勞組辯論大會

天氣豫報

浜通り勞働組合教宣担当者
會議、勞働協会石城支部、
平勞政事務所共催の第二回本日(西)の風天氣は長
縣知事杯濱通り勞組辯論大會
は七時半から十時半、朝の内
城市小名浜公民館に濱通り
明日(西)の風天氣は晴
れたり曇つたりでしょう。
海上(日)中多少風波が吹
しようが、明日はおだやか
な見込です。

魚菜市況

卵 一 一四ねが八〇一八
五玉ねが一六〇一六五人
參八〇一三二〇午後八
九〇ばれいしよ二八七
〇さつま二一五〇さとい
も五六一八〇大こん五二
五丸大根三二五玉菜四〇
一五〇なす八〇一〇〇白
兵、青田平放送局長、高木二
小名浜公民館長、杉山水素
勞組長他警長、全警代表者
イカ二二〇一三六ノドグ
の六氏が審査の結果、最優
秀者に県知事杯他縣議長杯
サンマ六〇一八一エビ九二
〇アチ四〇〇カツヲ五〇〇
労働組合の理論的發展に大
きなコウ献が期待される。
メカヅキ五〇〇

電話器に喜ぶ一中

電話記念日に磐城局から贈られる

磐城電報局では二日から
の電信電話週間になんで
二七日小名浜一中に磁石式
三号卓上電話機一対を同局
山内業務課長、長谷川施
課長の手を通じ、生徒会代
表の上野山昌君他三名の手
に渡された。
同校では最速教科にと校長
室、裁縫室間の校内線とし
生徒間の学習心をそよる事
を図ると喜びに満ちている
理科クラブ主任若松先生談
今年三年の教科で飛行機の



先き頃新装なつて十月一日後同市龍ヶ澤の開墾地に入育が明るみに出、PTAで
から木の香も清しい校舎に植し続く冷害で生活に困窮は米川先生に感謝状を贈
授業を始めた常磐市第三小、樂しみの運動会に運うと相談している。
学校では去る二十四日新校運動シャツもないと悲しんで
庭に全校生徒喜びの運動会いたのを知つた米川先生は
を聞いたが、大喜びで走ね自分の薄給をさいて運動服
を贈つた、一年二組高林チを贈り、校舎新築の喜びを
ヨ子(七)ちゃんの眞白な運人一倍楽しませた他同じ受
動服、パンツが担任の米川 持児童の今野セツ子(七)ち
テル子(三)先生から贈られやんがやんが家庭の貧困か
たのである事が見物のPTA 学用品も買えず学校に来
Aの間に横がり、人々の話をのぞかっている事知り
題となつた。米川先生は早速学用品を贈りて共に登報、磐城市内建築業縣營住
ヨ子ちゃんの父(五)が終戦校さるるなど数々の温情教宅八戸は二十八日工事説明

縣營住宅は小
原作山組落札

女子店員募集(若干名)

採用條件
一、高校卒業資格以上
二、年齢十八歳以上にて舊小名浜在住者に限る
三、右希望者は本人自身履歴書持参の上至急
小名浜店(御来店下さい)

株式会社 大黒屋小名浜店

洋正丸

洋正丸 電話五七四
洋品 小名浜

31日-2日	27日-11月2日 一週上映	31日-2日
閑靜なる宅地讓る 市中心地に數分の近距離 諏訪神社附近 二〇〇坪 絶好の機會 委細面談 姓名在社	縣下初封切 總天然色西部活劇黄金篇 燃える幌馬車 總天然色 曠野の逆襲 アラン・ラットの海洋活劇 總天然色 零下の地獄	今日の特映 たん吉たん子 歌くらべ狸バヤシ 完結篇 力道山・遠藤幸吉 レスリング・チャンピオン 日本の虎 青春前期
金星座	磐城座	キンピ館

小名濱臨港鐵道株式會社

取締役 浦田文二郎
常務取締役 眞木 弘
取締役 小野 信一
総務部長 小野 信一
電話三三〇・二七二番